

令和元年度で実施した主な事業（一般会計）

みんなに優しいまちづくり

保育所の運営に要した経費

2億9,146万8千円

町立の保育所や私立保育所、幼稚園の運営に使用しました。



新しいこども園の建設に要した経費

6,156万5千円

新しく開園する認定こども園の設計業務や造成工事などに使用しました。

栖原コミュニティセンターの建設に要した経費

3,795万8千円

新しく建設を行う栖原コミュニティセンターの設計業務や、駐車場の用地購入費用に使用しました。

総合センター大規模修繕に要した経費

2,175万3千円

総合センターのバリアフリー化工事等に使用しました。

賑わいのあるまちづくり

湯浅駅周辺整備事業に要した経費

17億880万3千円

湯浅えき蔵の建設工事や湯浅駅構内のバリアフリー化（エレベーターやプラットホームの改修など）のための負担金、駐車場用地の購入などに使用しました。



旧栖原家改修に要した経費

7,208万4千円

醤油醸造を行っていた主屋や蔵の改修に使用しました。

観光用駐車場の整備に要した経費

7,893万5千円

総合センター前（旧改良住宅跡地）を観光用駐車場として整備しました。

文化財の保存・活用に要した経費

446万5千円

町内の建物・民俗資料の現存状況の把握、個別調査等に使用しました。

安心安全のまちづくり

栖原ポンプ場の改築に要した経費

1億8,543万4千円

栖原区にあるポンプ場の改築に向け、ポンプ場本体の改築工事や、雨水管渠の基本設計業務などに使用しました。



道路や橋の改良に要した経費

1億5,606万9千円

町内各所の道路改良工事や側溝改修、また「希望橋」や「宮後橋」などの橋梁改修工事などに使用しました。

子ども医療に要した経費

4,037万2千円

乳幼児から18歳までの医療費に要した経費です。（町独自で小学校1年生から18歳まで助成）

地域別津波避難計画の策定に要した経費

583万円

地域別に津波からの避難計画を作成しました。

地場産業を活かしたまちづくり

ふるさと納税にかかる経費

19億7,236万8千円

ふるさと納税推進のためのポータルサイトでの業務委託などに使用しました。



漁港機能の保全に要した経費

757万2千円

栖原漁港施設の物揚場や突堤の改修に使用しました。

農業基盤の整備に要した経費

268万円

農業用パイプラインの幹線に緊急遮断弁を設置し、地震等災害時の破損漏水を防止するための負担金に使用しました。

湯浅町の普通会計及び公営事業会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	11,858,745	10,917,549	437,947	503,249
同和对策住宅新築資金等特別会計	65,464	136,774		▲71,310
(会計間・年度間のやりとり)	▲156,554	▲156,554		0
普通会計の計 A	11,767,655	10,897,769	437,947	431,939
国民健康保険事業特別会計	1,714,789	1,709,495		5,294
介護保険事業特別会計	1,374,636	1,301,321		73,315
後期高齢者医療特別会計	310,763	309,702		1,061
公営事業会計				
農業集落排水事業特別会計	48,290	48,290		0
駐車場事業特別会計	45,159	45,159		0
水道事業会計				
収益的収支	266,099	215,375		50,724
資本的収支	738	80,728		▲79,990
公営事業会計の計 B	3,760,474	3,710,070	0	50,404
合計 (A + B)	15,528,129	14,607,839	437,947	482,343

用語説明

地方交付税…全ての地方公共団体が税収入の差に関係なく、等しく標準的な事務を行うことができるよう、国が一定の基準で交付するお金です。

国庫支出金・県支出金…特定の事業を行うために、国や県から交付されたお金です。

町債…特定の事業を行うために、国や金融機関より借り入れたお金です。

譲与税・交付金…地方譲与税、地方消費税など便宜上国が徴収した税金から譲与・交付されたお金です。

義務的経費…支出が義務付けられている人件費、扶助費、公債費のことです。この経費の占める割合が高くなるほど硬直的な財政運営となります。

投資的経費…施設の建設費など、将来にこの資本形成のための経費です。（普通建設事業費・災害復旧事業費など）

その他の経費…上記以外の経費です。（物件費・維持補修費・繰出金・補助費など）

決算報告

令和元年度 総務広報課財政係 (16番窓口) ☎64-1108

令和元年度普通会計決算は
4億3,193万9千円の
黒字になりました。

令和元年度末時点での
借入残高は91億1,008万9千円
貯蓄残高は35億7万円です。

町民1人当たり換算すると…

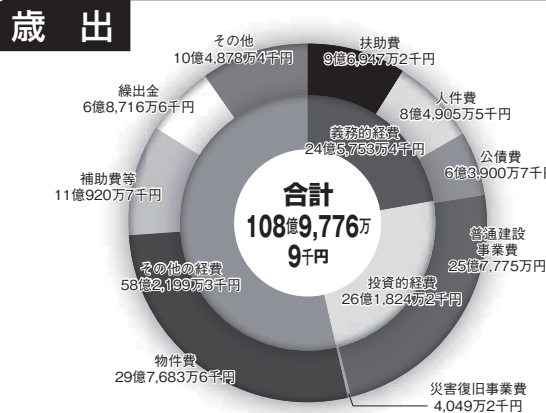
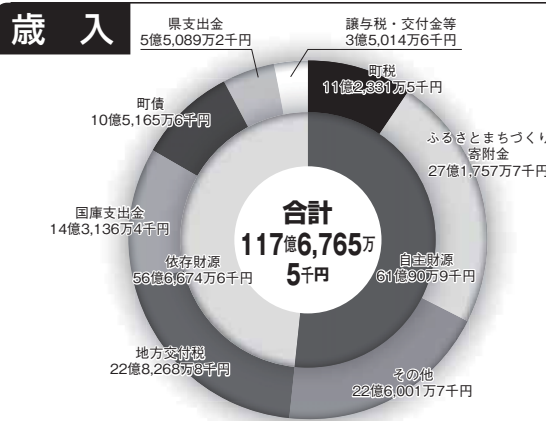
- 1人当たりの町への税金……………9万5千円
- 1人当たりに使われたお金……………92万3千円
- 1人当たりの借入残高……………77万2千円
- 1人当たりの貯蓄残高……………29万7千円

*令和2年3月31日の人口(11,801人)で計算しています。

決算は町の歳入歳出の実績を表したもので、いわば町の「家計簿」です。町の会計は、大きく分けて一般会計と特別会計に分かれています。市町村によって設置している会計が異なるため、他の市町村と決算を比較するときには一般会計と一部の特別会計を合わせた「普通会計」を用います。ここでは、湯浅町の「普通会計」（一般会計と同対策住宅新築資金等特別会計）について報告します。

令和元年度普通会計決算は、4億3,193万9千円の黒字となりました。昨年度と比較して、歳入は4億7,156万6千円の減、歳出は8億3,839万9千円の減となっています。また、町の貯蓄にあたる基金残高については、財政調整基金が6億8,151万2千円、減債基金が1億1,155万8千円、ふるさとまちづくり基金を含む、その他特定の基金が27億1,740万円となっています。

令和2年度以降も様々な事業を進めていきます。今後をしっかりと見据え、将来に過度な負担とならないよう取り組んでいきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



★標準財政規模
町の標準的な一般財源(使途が決められていない財源)の規模

令和元年度 34億7,044万2千円
(H30年度 34億3,670万3千円)

★実質赤字比率
標準財政規模に対する普通会計の赤字額の割合を示す比率

15%以上…早期健全化団体へ
20%以上…財政再生団体へ
令和元年度 なし (H30年度 なし)

★連結実質赤字比率
標準財政規模に対する普通会計及び公営事業会計の赤字額の割合を示す比率

20%以上…早期健全化団体へ
30%以上…財政再生団体へ
令和元年度 なし (H30年度 なし)

★実質公債費比率
借入金返済の負担の度合いを示す比率。一定以上になると地方債の発行が制限されます。

25%以上…早期健全化団体へ
35%以上…財政再生団体へ
令和元年度 9.9% (H30年度 9.9%)

★将来負担比率
標準財政規模に対するすべての会計、一部事務組合等の将来負担する実質的な負債の割合を示す比率

350%以上…早期健全化団体へ
令和元年度 20.1% (H30年度 5.6%)

★資金不足比率
公営企業の経営状況を判断する比率。

20%以上…公営企業の経営健全化計画を作成し、議会の議決を得なければなりません。
令和元年度 なし (H30年度 なし)